

令和4年度家庭教育支援専門研修会 開催報告

日時 令和4年9月9日(金)13:30~16:30

会場 滋賀県庁東館7階大会議室

参加人数 94名(会場25名、オンライン69名)



内容 ○講演「よりよい家庭教育支援活動の実践に必要な支援員のスキルとは」
講師 芦澤 万里子 氏(泉大津市家庭教育支援チームリーダー)

○情報提供「家庭教育支援活動の種類と効果的な取組方法について」
滋賀県教育委員会事務局生涯学習課員

○情報交換



令和2年度作成
「はじめてみませんか
訪問型家庭教育支援」
リーフレット

ご希望の際は、生涯学習課まで
お問い合わせください。

【参加者の感想より】

- 芦澤先生のお話から、エンパワメントのための傾聴の大切さが本当に必要だと学ばさせていただきました。家庭教育支援チームが情報共有し、支え合っておられる仕組みも大変参考になりました。すぐに結果を求めずに、少しずつ保護者の心をほぐし、関係づくりをしていく体制を、市として作っていきたいです。(市教育委員会担当者)
- 家庭教育支援員の方がどのような存在であるのか、これまで知る機会が無かったので、今回の研修内容はそれを知り、立場や役割を知りたいへんよい機会になりました。(市子育て支援課職員)
- 保護者とのよりよい関係の作り方等が、たいへん参考になりました。(家庭教育支援員)
- 学校では、不登校支援コーディネーターをしているので、芦澤先生の講話にある「傾聴」についての内容は、たいへん有意義なものでした。生涯学習課員からの情報提供も分かりやすく、家庭教育支援についてしっかりと学ぶことができました。(地域連携担当者)
- 多様な立場の方の参加があり、学びが深められました。オンラインの手法でグループ情報交換ができ、たいへんよかったです。(フリースペース関係者)
- 社会教育委員として、今回の研修に参加させていただきました。もっと詳しく勉強ができればと考えています。家庭教育支援の大切さを感じています。(社会教育委員)

でも、そんな「困った保護者」は 実は「困っている保護者」かも

家 庭

毎日の仕事と生活で
大変・・・

子どものことまで
気がまわらない・・・

余裕がない・・・
しんどい・・・

周りに相談できる
人もいないし・・・

保護者が元気になる訪問型家庭教育支援
を始めてみませんか？

